

報道機関 各位

2012年4月13日

一般社団法人 日本画像医療システム工業会

## 2012国際医用画像総合展 開催について

2012 国際医用画像総合展 (ITEM2012) は、平成 24 年 4 月 13 日 (金) から 15 日 (日)までパシフィコ横浜 展示ホールにて機器展示 142 社 海外学会 1 団体が参加、出展総面積 16,700 m<sup>2</sup>の規模にて開催されます。

昨年は、東日本大震災により機器展示を急遽中止し Web 上での「eITEM2011」として開催しましたが、今回は中止となった昨年を上回る規模での開催見込となりました。尚、一昨年の参加企業は 137 社、実入場者数は 20,977 名でした。

本展示会は、1988 年以来、日本医学放射線学会(JRS)総会、日本放射線技術学会(JSRT)総会学術大会そして 2001 年からは、日本医学物理学会(JSMP)学術大会も加わった学術大会と同時開催される日本最大級の画像医療システムの総合学術展示会です。主催者は、上記 3 学会と日本画像医療システム工業会(JIRA)の計 4 団体で構成される一般社団法人日本ラジオロジー協会 (JRC) で、当工業会は運営を担当します。

今年の JRC2012 の統一テーマは、「未来への先導—放射線診療の核心に迫り未来を展望する— (Design the Future of Radiology)」です。国際医用画像総合展は、学術大会で訴求される放射線医学の最新成果を最新の画像診断システムと臨床応用診断ソフトを豊富な臨床画像データとともに展示しております。画像診断、放射線治療が IT 活用の様々なソリューションで未来に向かってどう発展するかを体感していただきたいと存じます。

### (企業 展示概要)

2012 年の展示参加企業の展示機種別延出展登録社数の対出展社総数構成比の内訳は、画像診断システムが 40%、画像医療 IT が 32%、医療情報システムなど医療 IT 関連が 20%、放射線防護など関連用品が 21%となっており、IT 関連システムの出展比率が画像診断システムより多くなっています。

展示機種別延出展登録社数を ITEM の横浜での定置開催が定着した 2005 年と 2012 年を比較してみると、X線診断装置は、2012 年は、4 社減、CT、MRI は、それぞれ 3 社増、核医学機器が 2 社増となっており X線診断装置から画像医療システムへと展示の中心が移ってきています。医療画像観察関係機器では、自動現像機、イメージャー、フィルム観察機器などのフィルム系の画像観察装置が 12 社減で医療画像観察関係機器全体でも 5 社減となっています。放射線防護など関連用品も 4 社減となっています。一方、医療情報システムなど医療 IT 関連は 6 社増となっています。X線診断装置から画像医療システム、そして医療 IT 関連へと出展内容が移行しています。

2012 年の展示では、X線診断システム・X線 CT・磁気共鳴イメージング (MRI)・PET-CT・超音波診断システム・放射線治療システムなどの「画像診断システム、治療システムとその関連用品」や診断用画像処理システム・画像保管管理通信システム (PACS)・読影支援システムなどの「画像医療 IT システム」、電子カルテ・レセプトオンラインシステム・病院情報システム・地域医療支援システムなどの「医療 IT システム」の国内外のメーカー発の、最新の技術による医療ソリューションが提案されます。

外科手術や放射線治療を診断画像で支援し診療科を越えた「チーム医療」を促進する X線循環器システム、治療計画システム、診断用画像処理システム (PACS) や診断適用領域の拡大が期待される最新のマルチスライス CT、高磁場 MRI だけでなく PET-CT、PET-MRI、IVR-CT などの複数の診断モダリティを融合させた新しい診断ソリューション、各種の臨床診断応用ソフトウェアに加え医療業務のワークフローを改善する医療情報システム、地域医療、遠隔画像診断を支援するシステムなどが展示されます。

また X線 CT や X線循環器撮影システムでは、フィルタ技術やソフトウェア技術活用による大幅な撮影放射線量低減の新技术を搭載した製品、省電力に配慮した装置が多く出展されています。更に今年の展示では災害時対応の非常電源装置、無停電対応電源なども展示されます。

#### (JIRA ブース)

会場内の JIRA ブースでは、政府の「新成長戦略」内でも成長分野の一つとして位置づけられた「画像医療システム産業」の成長促進への取組みや、産業界の基盤形成等に取り組んでいる JIRA の部会・委員会活動を紹介しています。

成長促進への取組みでは、医療機器の「安心・安全」確保への取組み、特に市販後安全対策として産業側から医療機関に提供すべき情報「装置引き渡しガイドライン」作成活動、「GSP 省令 (市販後調査及び試験の実施基準) の適切な遂行のガイドライン」制定、安全点検と保守管理の向上に向けた各種の取組みを紹介しています。X線診断機器の適正線量管理だけでなく、高磁場化が進み MRI の吸着事故防止への安

全管理の取組みが求められる医療施設への啓発活動も紹介しています。

「画像医療システム」の中でも成長が期待される「画像医療 IT システム」の「産業成長」と「安心・安全の確保」の両立をめざした「医療用アプリケーションソフトウェアの医療機器化」の提言活動などを紹介しています。

当工業会が継続して取り組んでいる「画像医療システム」の適正評価を求める活動と提言も紹介しています。画像診断の特性にあった医療機器の「安全保証」、「精度保証」、「運用保証」が総合的に担保され診療報酬上適正な評価へと繋がることを目指した提言活動、「保守維持管理コスト」の明文化、「医療機器安全管理料」の適用拡大、「画像精度管理料」新設、CT・MRの「断層撮影料」の基礎点数と加算評価の融合など医療機器・技術の適正評価による産業成長への寄与の必要性を説明しています。

産業界の基盤形成活動では、1) グローバルな市場を視野に入れた国際活動  
2) 工業会活動の原点である国際規格に対応した標準化活動、3) 会員企業間の連携による産業振興への取組みなどを紹介しています。

国際活動では、日本の JIRA、米国の NEMA-MITA（米国電気機器製造業者協会の医用画像工学関連機器事業部会）、欧州の COCIR(放射線医用電子機器連合会)を核とした国際的な画像診断、放射線治療、ヘルスケア IT 業界の団体を 2012 年より連合組織に発展させ、各地域の行政機関や医療に関わる国際機関に対して画像診断に関わる政策推進のための専門知識や情報の適切な提供を恒常的に行ってゆく動きを紹介します。法規制の国際的な枠組みの調和形成、国際規格使用の奨励、医療イノベーションの推進と患者の新医療技術へのアクセスの改善、国際的な公正競争の推進などの活動を紹介しています。医療 IT の進展が、国境を越えた医療やグローバルな商品開発をもたらすようになると国際統合活動は更に重要となってまいります。

また、中国をはじめとする市場拡大が予想される新興国でのビジネス活動を支援するための法規制動向の調査と会員企業への情報提供活動や中小企業の海外ビジネス展開支援のための合同国際展示活動などの多様な活動を紹介します。

標準化活動では、IEC 規格（IEC60601-1 3 版）移行対応や各個別規格の国際統合化と標準化の推進を紹介します。

画像医療情報システムに関する標準規格作りの推進なども紹介します。

企業振興への取組みでは、IT 関連ベンチャー企業への薬事法、医療機器行政施策についての勉強会（IT 特区活動）や企業間のマッチング活動へと繋がる取組み、中小企業の海外ビジネス展開支援のための合同国際展示活動などについても紹介します。

また、薬事法など医療機器をめぐる法規制に対してのコンプライアンス活動と整合させた医療機器販売・サービスなどの流通近代化への取組みなども紹介します。

JIRA ブースの主な展示内容の概要を紹介しましたが、他にも様々な活動を紹介しています。

#### (JIRA 企画コーナー)

会場内休憩コーナーに隣接してブース内に集客スペースが無くナレーションデモ、プレゼンテーションができない基礎小間展示の出展社のために、出展企業のスタッフやナレーターによる商品紹介・技術紹介を行っていただくためのスペースとして JIRA 企画コーナーを 2009 年から設けています。中小企業の独自の新商品、新技術が紹介されます。

展示運営担当の当工業会は出展企業、来場者の方が満足されるような企画を実施してまいります。取材を宜しくお願い申し上げます。

#### 【日本画像医療システム工業会について】

一般社団法人 日本画像医療システム工業会 (JIRA) は、1924 年その母体を設立以来、日本における放射線医療の発展とともに歩みつづけ、今日では、放射線機器・画像医療システム等を供給、つねに先進の医療環境をサポートする 175 社 (2012 年 4 月現在) の会員会社を擁する産業団体に成長しました。

当工業会は、設立当初から業界標準化の推進や法規制問題、安全性問題等に幅広く取り組み、人々の健康と福祉に貢献してきました。高齢化社会への対応が急がれる 21 世紀。今後は、予防・健康管理から早期発見・診断・治療まで、医療機器とそれに伴うサービスやソリューションの範囲を、ますます広げていくことが使命であると考えます。当工業会会員各社は、画像医療システム産業を健全に発展させ、国民の健康と日本経済の発展に貢献できるよう一丸となって活動して行きます。

※JIRA は一般社団法人 日本画像医療システム工業会の商標です。

本資料に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本画像医療システム工業会 <http://www.jira-net.or.jp>  
事務局 総務担当 西口 TEL : 03(3816)3450  
産業戦略室 松本